

# YOKOHAMA STAGE

2021 5/26 WED 27 THU 28 FRI パシフィコ横浜  
 PACIFICO Yokohama

26日(水)・27日(木) 10:00～18:00 / 28日(金) 10:00～17:00

本状に記載の開催時間・企画等は変更となる場合がございます。最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。

事前登録制 自動車技術会会員：2021年4月20日(火)～、一般：2021年4月27日(火)～  
<https://expo.jsae.or.jp/>



ONLINE 2021 5/26 WED ～ 7/30 FRI  
 人とくるまのテクノロジー展2021 ONLINEを同時開催いたします。詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。



\*4月27日(火)更新

主催 公益社団法人自動車技術会  
 Society of Automotive Engineers of Japan, Inc.

## 新車開発講演 会場：2F アネックスホール F201 & F202

無料・事前登録制

最新車の開発秘話や開発に注いだ情熱や想いを、開発者に語っていただきます。

### 5/26 WED. 15:30～16:30 Honda二輪EVの開発と今後の展望



本田技研工業株式会社  
 二輪事業本部 ものづくりセンター  
 チーフエンジニア (GYRO e：開発責任者)  
**中川 英亮 氏**



本田技研工業株式会社  
 二輪事業本部 事業企画部  
 チーフエンジニア (二輪EV責任者)  
**佐藤 彰一郎 氏**



Hondaはカーボンフリー社会実現に向け、電動化と市場ニーズ開拓に取り組んでいます。先駆けて1994年電動スクーターを投入以来、2018年に着脱式バッテリー採用モデルを上市。以後のHonda e：ビジネスバイクの現状をお話します。

### 5/27 THU. 15:30～16:30 「自然体」人を中心としたMX-30開発



マツダ株式会社  
 (元)商品本部  
 主査  
**竹内 都美子 氏**



技術の進化により私たちの生活は日々便利で快適になる中で、人の心の状態に着目し、一貫して人の心が整えられる保有体験の実現を目指してきました。本講演では、MX-30に織り込んだ室内空間から走行性能までの工夫と検証結果の内容を紹介いたします。

### 5/28 FRI. 15:30～16:30 乗ればわかる電気の楽しさ、新型ノートの開発



日産自動車株式会社  
 第一製品開発本部 第一製品開発部  
 チーフビークルエンジニア  
**渡邊 明規雄 氏**



第2世代「e-POWER」と新開発プラットフォームの採用等で、コンパクトカーの常識を超える運転の快適さと楽しさが詰まった新型「ノート」の魅力や新技術を、開発責任者から紹介します。

## その先のテクノロジーが見える 将来の車社会を展望する技術展

■ご来場方法 ご来場前に必ず事前登録をお済ませください。感染症対策により、当日登録の受付はございません。



本展では徹底した感染症対策を実施いたします。

- 全参加者に検温器等による体温測定を実施
- 全参加者へマスク着用を徹底
- 密にならないようガイドラインに従った入場制限を実施
- 指定救護室の設置
- すべての出入口に消毒液を設置
- 扉の解放、空調設備による常時換気
- 講演会場での座席間隔の確保
- 各講演・試乗終了後の会場・車両等の消毒を実施等

\*本状に記載の事項は変更となる場合がございます。最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。  
 詳細は日本展示会協会のガイドラインおよびパシフィコ横浜が策定した「パシフィコ横浜における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」をご確認ください。

## 試乗会 会場：公道(受付：1F ピロティ) 5/26 WED. 10:00～17:00 5/27 THU. 10:00～17:00 5/28 FRI. 10:00～15:00

無料・事前登録制

公道での試乗体験企画です。各メーカーの説明員がサポートします。



TOYOTA  
MIRAI



NISSAN  
Note e-POWER



SUBARU  
LEVORG



SUZUKI  
SOLIO BANDIT



Honda  
Honda e



MAZDA  
MX-30



DAIHATSU  
TAFT G Turbo

## 商用車ゾーン展示

### 世界をリードする商用車の環境・安全技術

商用車メーカー2社(いすゞ自動車・日野自動車)が先進の環境・安全性能と高い信頼性を誇るトラック・バスの最新の車両・技術を一堂に展示します。



いすゞ自動車



日野自動車

一般展示出展社の最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。  
<https://expo.jsae.or.jp/>



# 地球にやさしく豊かな社会を築く自動車技術

私たちは、自動車技術を通し便利さと快適さを追求し、様々な課題に挑戦しながら豊かな車社会を築いてきました。そして最近では、さらなる発展を目指し「100年に一度の大変革期」といわれる技術の流れに直面しています。一方、地球環境に目を向けると、安心して快適な生活が自然の脅威に曝されおびえる瞬間も日増しに増えているのも事実です。そこで、今回の「人とくるまのテクノロジー展」では、産業活動が地球環境に及ぼす影響の全体像と世界の動きを出発点に、より快適で地球にやさしい持続可能な社会を築くため、自動車技術の進むべき方向についてその一端をご紹介します。

明るい未来の地球環境のため、新たなエネルギー社会の構築に貢献し活躍する自動車技術と、安心・安全で豊かな生活を支えるモビリティ技術を展望します。

また、時事的背景を考慮し、現在のコロナ禍におけるモビリティの在り方に対する取り組みにも触れ、ニューノーマル時代に適応したモビリティ技術もご紹介していきます。

## 1 社会情勢

厳しさを増す地球環境を考えたとき、国際社会の一員として、日本として、産業界として、自動車技術として取り組まなければならないことは何か。現在の社会情勢を踏まえつつ、高度化する技術を取込みながら進化する自動車と共に、社会はどのように変化していくかを考えます。

## 2 新たなモビリティ・エネルギー社会の想定

「2050年自動車はこうなる\*」より、エネルギーとモビリティに関係する項目を選び出し新たなエネルギー社会を想定。その中で、我々の暮らしや社会を支えるモビリティはどのように進化していくのか、都市部と郊外、物流と人の移動を想定し、新たな社会に向かうための課題と対応について考えます。  
\*2017年自動車技術会刊行

## 3 想定したエネルギー社会での自動車技術の果たす役割

100年の歴史を持つ内燃機関を上手に使いつつ、CO<sub>2</sub>排出を可能な限り少なくするための電動化技術にも注力。更に、カーボンニュートラルを目指し、産官学が協力し取り組むCO<sub>2</sub>排出を可能な限り少なくする高度な技術は、車載技術のみならず、インフラを含めたモビリティ社会全体に波及しながら進化していくと考えます。



## 4 エネルギーを効率的に創・蓄・使

自動車技術の進化のひとつの方向として、車載技術とインフラ技術が融合し普及していくことであり、「エネルギーを効率的に創り、蓄え、賢く使うこと」が大切と考えます。本コーナーでは、車載技術と共にモビリティに関わるインフラ技術をも取り上げ、「創・蓄・使」として紹介します。

## 5 ニューノーマル時代

期せずして訪れたニューノーマル時代。CASE、MaaSと相まって、あらゆることが変容する中、モビリティはどのように変化していくのか。本コーナーでは、模索を続けながらもモビリティが目指す方向について、IT技術や先端技術を駆使し導き出そうとする研究の一端をご紹介します。

●展示協力企業・団体 (五十音順掲載)

株式会社アイシン / 株式会社IMUZAK / 大阪大学モビリティシステム共同研究講座 / CHAdeMO協議会 / 東大グループ(東京大学、株式会社プリチストン、日本精工株式会社、ローム株式会社、東洋電機製造株式会社) / トヨタ自動車株式会社 / 豊田通商株式会社 / 日本板硝子株式会社 / 日野自動車株式会社 / 福島県浪江町 / 古河電気工業株式会社 / 一般社団法人UTMS協会 / 理化学研究所 & 神戸大学 / 株式会社リコー

左記のテーマに沿った業界での取り組みや動向について、その道の専門家に語っていただきます。

## 5/26 WED.

### 10:30~11:30

#### 2050年カーボンニュートラルに向けた政策動向

環境省  
地球環境局総務課  
課長  
**関谷 毅史 氏**

2050年カーボンニュートラルへの道筋づくり、新たな2030年削減目標の検討など気候変動に関する最近の動向をご紹介します。

### 13:30~14:30

#### 革新的環境イノベーションによるゼロエミッション社会の実現に向けて

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
ゼロエミッション国際共同研究センター  
副研究センター長  
**羽鳥 浩章 氏**

2050年のゼロエミッション社会の実現のため、革新的イノベーション技術の創出が求められています。カーボンニュートラルに向けて社会が現在直面している課題と、その解決のための研究開発の状況について紹介します。

## 5/27 THU.

### 10:30~11:30

#### カーボンニュートラル時代の交通まちづくり

一般財団法人計量計画研究所  
研究本部  
理事  
**牧村 和彦 氏**

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、世界では次世代のモビリティビジョンが次々に発表されています。また、コロナ禍で新しいモビリティサービスは急加速しており、本講演では、カーボンニュートラル時代の交通まちづくりの現状と展望を紹介します。

### 13:30~14:30

#### SDGs達成のために自動車技術が果たす役割

東京大学  
教養学部環境エネルギー科学特別部門  
客員准教授  
**松本 真由美 氏**

2030年に向けた世界共通の目標「SDGs(持続可能な開発目標)」の実現に向けて、自動車技術が果たす役割は何なのでしょうか。自動車技術が、どのような形でグローバルな社会的課題に貢献するのかを考えます。

## 5/28 FRI.

### 10:30~11:30

#### 自動車業界におけるネクストノーマルの展望 \*英語講演 / 通訳あり

マッキンゼー・アンド・カンパニー・  
インコーポレイテッド・ジャパン  
東京オフィス  
パートナー  
**ドミニク・ルツァク 氏**

ここ数年、自動車業界には激変の嵐が吹き荒れており、COVID-19はその変化を更に加速させました。本講演ではCOVID-19を経たネクストノーマルの自動車業界トレンドについて、市場及び技術を中心に、マッキンゼーの知見を共有します。

### 13:30~14:30

#### コロナ禍後の社会において期待されるイノベーション像

国立研究開発法人  
新エネルギー・産業技術総合開発機構  
技術戦略研究センター  
センター長  
**岸本 喜久雄 氏**

コロナ禍は我々に「新しい社会様式」への転換を迫り、デジタル化推進や持続可能な社会への転換が求められていることを示すとともに自動車産業をはじめとする我が国の産業に期待されるイノベーション像について考察します。